学校だより　　　　　　　　　　　　　　　　藤沢市立滝の沢中学校
2023．7．20
第5号

笑顔であいさつ

〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤 699 番地の 3 ℡ 0466-87-9148
http://www1.fujisawa-kng.ed.jp/jtaki/

「人は人・本・旅から学ぶ」~生徒の皆さんへ~

明日から、待ちに待った夏休みですね。後で振り返ったときに自分自身で納得できる４１日間にしましょう。そのためには何より心身の健康が重要です。規則正しい生活を心がけ体調管理に努めましょう。

また、「人は人・本・旅から学ぶ」と言われています。この夏休みに普段の学校生活ではなかなか出会えない人と出会い、読んでみたい本を読み、行きたい場所を訪れて、さまざまな経験から自分自身をひと回り成長させる努力をして欲しいと思います。

さらに、成長過程の皆さんですから、家庭や地域で失敗や過ちをおかしてしまうこともあるでしょう。そんなときは家族や地域の方にしっかりと“叱られ”てください。そして、素直に「ごめんなさい」「すみません」と言える人であって欲しいと思います。

８月３１日、笑顔で登校してくれることを大いに期待しています。

【保護者の皆様へ】

いつも本校の教育活動に対するご理解・ご協力、誠にありがとうございます。おかげさまで生徒一人ひとりに成長が見られた７２日間（授業日）となりました。今後も保護者の皆様の力強いご支援をいただければ幸いです。何卒よろしくお願いいたします。

さて、明日からは子どもたちが楽しみにしている夏休みとなります。目標に向かって有意義に過ごすことができれば理想的ですが、そういかないこともあるでしょう。そんなときはただ単に叱るのではなく、小さな努力を認め、自己肯定感や自己有用感を高める声かけも効果的であると思われます。そのためにも家庭での役割を与え、責任を持たせることも重要ではないでしょうか。

「成し遂げることはできなかったが、やり遂げることはできた」・・・

６月２４日スタートした市総合体育大会も７月１５日で全日程が終了しました。陸上部以外の運動部の生徒にとっては事実上引退前の最後の大会。私も短い時間でしたが、各会場を回り、子どもたちの勇姿を観ることができました。試合に勝って最高の笑顔を見せる選手、負けて悔し涙を流す選手、結果はそれぞれでしたが、全力でプレーする姿はとても感動的でした。正に「成し遂げることはできなかったが、やり遂げることはできた。」と胸を張って欲しいと思います。結果ではなく、目標に向かって努力したプロセスこそが必ず子どもたちにとってかけがえのない貴重な財産となると信じています。また、感謝の気持ちを忘れず、試合会場での挨拶やマナーもしっかりできている選手が多かったことも、うれしく思いました。今後、湘南ブロック大会に出場する部活の活躍を大いに期待したいと思います。大会結果は次のとおりです。

○野球部：初戦惜敗　　　○サッカー部：敗者復活戦２回戦惜敗
○ソフトボール部：３位　○ソフトテニス部：男子団体３位 個人３位、女子団体７位
○剣道部：男子団体４位、女子団体予選惜敗　個人４位、５位
○ﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝ部：男女団体　初戦惜敗　　男子個人ベスト８
○卓球部：男子団体６位、女子団体予選惜敗
○ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ部：男子２回戦惜敗、女子準優勝　　○ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ部：男子３位、女子ベスト８

平和学習講演会を終えて～人々の心に希望の灯をともす～

７／６（木）２～４校時　２，３年生合同で「平和学習講演会」を実施しました。講師はルダシングワ（吉田）真美さんとその夫のガテラ・ルダシングワ・エマニュエルさんです。二人は中央アフリカのルワンダで内戦の犠牲者となった人々に対して無償で義足を作る活動をしています。また、障がい者の方々が自立できるようにパラリンピックに選手を出場させる努力を重ね、傷ついた人々の心に“希望の灯”をともそうとするなど、さまざまな方法で支援しています。祖国を愛するガテラさんと協力し、エネルギッシュに活動する真美さんの姿から生徒は勇気と感動をいただいたのではないでしょうか。次のとおり２，３年生の感想の一部を紹介いたします。

（2004.3.30　NHK プロジェクト X『悲劇のルワンダ　希望の義足』でも放送）

＜２年＞

・「人との出会いを大切に」という言葉が心に響きました。人との出会いがあったからこそ、今の自分があるので、これからも人との出会いを大切にして生活していきたいです。

・自分で決めた目標を実現するために義肢を作っている人に弟子入りをして、ルワンダで工房を作ることまでするという行動力がすごいなぁと思いました。

・自分が大変な時に心のゆとりを持つことは難しいけど、私も誰かのために少しでも自分ができることをしていきたいです。

＜３年＞

・ガテラさんが「皆さんにもこの活動を家族のように温かく見守って欲しい。」と言っていたのが印象に残っていて、自分もこの活動のことを忘れることなく応援していきたいと思いました。

・世界には厳しい環境で生活している人たちがいると思ったし、改めて自分が住んでいる日本は恵まれていると思いました。人のために何かをしてあげたいと思えるのは、素晴らしいと思いました。

・自分たちがやって終わりではなく、それを未来まで続くように努力していることに感動しました。自分も人のために何かできることをやろうと思いました。

本校の課題に対して具体的なご意見をいただきました

７／４（火）５人の市会議員が傍聴人として参加される中、第２回学校運営協議会が開催されました。今回は、前回私の方から本校の抱える課題として提示させていただいた次の３つの課題について１つずつ検討し、次のようなご意見をいただきました。

① 家庭への支援について
- 相談を受ける側の情報発信が重要　・家庭の悩みを相談できる場所を提供していく

② 教員の働き方改革のために
- 地域の中にも子どもや保護者が安心できる居場所が必要
- 下校時の見守りボランティアを地域に依頼

③ 不登校生徒の対応について（自尊感情を育むために）
- 学校の中に学習を目的とした場所ではなく、安心できる居場所が必要
- 子どもたちが地域でも自己有用感を感じられるように、企画の段階から関われるようなイベントができたらいい。
- 登校に課題のある生徒にも参加できる活動（花壇ボランティア等）を行う

今後、こうしたご意見をふまえ、できるところから具体的に実践できたらと考えています。